

(12月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
みかん類		39,384	80	38,281	185	138	205	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・早生みかんは11月中下旬にピークを迎えた。11月下旬から中生種に変わるが、本年の温州みかんは裏年にあたり入荷量は各産地とも前年を下回る見込み。 ・階級はL、Mの大玉が中心となる。食味は酸が低く食べ安い仕上がりとなっているものの酸抜けが早い分、日持ちが悪くなることから出荷ペースは早まると予想される。 ・入荷量は表年だった前年を大きく下回り、価格は安値だった前年を大きく上回る見込み。
りんご(ふじ)		5,786	105	5,553	252	89	252	1,056	18.3	<ul style="list-style-type: none"> ・青森産を中心に長野、山形産が出回る。本年のりんごについては気象災害もなく、天候にも恵まれたことから作柄は各産地とも前年を上回る。 ・階級は36玉、32玉が中心。肥大良く、品質も良好。 ・販売環境はみかんが少ないもののりんご類の潤沢な入荷から価格は前年を下回る展開で推移する見込み。
いちご類		3,128	100	3,249	1,683	102	1,637	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・各産地とも11月下旬から出揃った。入荷量はクリスマス需要に向け日々増加傾向。暖冬で生育が停滞した前年に比べ入荷は順調との見通し。 ・主力の栃木産「とちおとめ」は生育順調で入荷量も前年並。「あまおう」は12月上旬から入荷が急増。ピークは中旬からクリスマスとなる見込み。 ・いちご全体では、入荷は前年並、価格は果実全般の豊作の影響もあり、前年をやや上回る程度の見込み。
かき類		3,326	105	2,999	235	103	272	88	2.6	<ul style="list-style-type: none"> ・富有柿中心の入荷となる。各産地とも前年に比べ、入荷ペースは早い。 ・玉伸びも順調で前年よりも大玉の仕上がり。生柿の販売は中旬で終了。その後は例年通り冷蔵ものに切り換わる。 ・全体の入荷量は前年を上回り、価格も前年を上回る見込み。
メロン類		1,137	99	1,284	894	101	815	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡を中心に熊本、宮崎、高知産産が入荷する。静岡産は作付け減少の流れが止まらず入荷量は前年比15%の減。熊本産も作付け面積1割減少。宮崎産も重油高の影響から作付けは減傾向。 ・価格については販売環境が厳しい中、需要期でもあることから前年並みは確保する見込み。

(12月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
ほしがき		647	105	754	1,688	93	1,558	49	7.6	<ul style="list-style-type: none"> ・長野産を中心に福島、富山、山梨産が入荷する。 ・原料柿の作柄は前年よりも良好で、乾燥状況も良く各産地とも入荷増の見込み。価格は消費環境も厳しく前年を下回る見込み。